

Weekly エコノミスト・レター

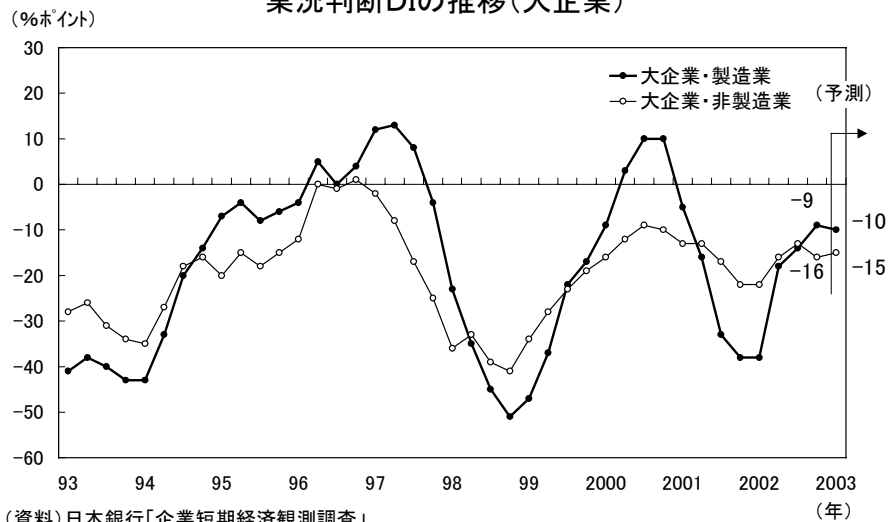
ニッセイ基礎研究所 経済調査部門

短観速報～強まる先行き不安

<今週の焦点> 強まる先行き不安、縮小均衡の企業経営

1. 大企業・製造業の業況判断DIは9(9月調査14)と改善した。しかし先行きは10とわずかだが悪化が見込まれている。大企業・非製造業の業況判断DIは16(9月調査13)と悪化した。先行きは15と目立った改善は見えていない。2002年度の売上計画は、国内の不振から全規模合計・全産業で1.0%の減少(9月調査比0.6%の下方修正)となり、経常利益は、同1.2%の下方修正で11.6%増となった。
2. 雇用者数の減少幅が拡大するなど、先行きの不透明感に縮小均衡を目指す企業の姿勢が見える。企業の設備投資意欲は弱く、外需依存の景気回復が設備投資の回復につながるというシナリオが崩れ、来年春頃に景気がピークを迎える恐れが高まっている。

業況判断DIの推移(大企業)



(資料)日本銀行「企業短期経済観測調査」

副主任研究員 齋藤 太郎(さいとう たろう) (03)3597-8416 tsaito@nli-research.co.jp
チーフエコノミスト 樋 浩一(はじ こういち) (03)3597-8471 haji@nli-research.co.jp

ニッセイ基礎研究所 〒100-0006 東京都千代田区有楽町1-1-1 7F : (03)3597-8405

ホームページアドレス : <http://www.nli-research.co.jp/>

＜今週の焦点＞ 12月短観～強まる先行き不安

＜概要＞ 製造業の景況感は改善～先行き不安は強まる

今回の短観では製造業の業況判断は企業規模に関らず改善したものの、先行きはわずかながら悪化となり先行き不安の強まりを示すものとなった。大企業・非製造業では業況判断は悪化した。製造業の業況感が改善しているにも関わらず、設備投資意欲の改善は弱く、雇用者数の減少幅が拡大するなど、縮小均衡を指向する企業の姿勢が見える。

輸出は好調であるものの国内需要の不振によって、2002年度の売上計画は下方修正となった。経常利益は全規模・全産業で下方修正となり11.6%の増益となった。

業況判断DI～製造業は改善、大企業・非製造業は悪化

大企業・製造業の業況判断DIは9（前回9月調査14）となり、9月調査における先行き11を上回る改善となった。業況判断DIの先行き（3か月先）については、10とわずかながら悪化となっており、先行き不安が強まっている。大企業・非製造業は16と前回調査（13）比で悪化し、先行きも15とわずかな改善にとどまっている。製造業では、企業規模によらず足元は改善したが、先行きは悪化となっている。非製造業では、大企業は足元で悪化した。中小企業は36（前回調査38）とわずかながら改善するなど企業規模別に動きがやや異なっている。非製造業・全規模合計では、製造業と同様に足元は28（前回調査30）と改善したものの、先行きは31の悪化となっており、先行き不安感が高まっていると判断される。

業況判断DI

（「良い」－「悪い」・%ポイント）

		2002年9月調査		2002年12月調査			
		最近	先行き	最近	先行き		変化幅
					変化幅	変化幅	
大企業	製造業	-14	-11	-9	5	-10	-1
	非製造業	-13	-11	-16	-3	-15	1
	全産業	-13	-11	-11	2	-12	-1
中堅企業	製造業	-22	-23	-19	3	-24	-5
	非製造業	-28	-26	-28	0	-29	-1
	全産業	-26	-24	-24	2	-27	-3
中小企業	製造業	-37	-36	-33	4	-36	-3
	非製造業	-38	-39	-36	2	-41	-5
	全産業	-38	-37	-35	3	-39	-4

（注）「最近」の変化幅は、前回調査の「最近」との対比。
「先行き」の変化幅は、今回調査の「最近」との対比。

個別業種毎に見ると、大企業・製造業では前回9月調査で8ポイントの悪化となった電気機械が29と前回（26）から引続き3ポイントの悪化となったのに加え、先行きについては自動

車で 15 ポイントの悪化、精密機械で 8 ポイントの悪化が見込まれているなど、輸出関連産業に陰りが見える。企業の売上計画は輸出依存を強めており、景気回復が輸出依存型であることを反映している。企業の設備投資意欲は弱く、外需主導の景気回復が設備投資の増加による内需中心の景気回復につながるというシナリオが崩れ、来年春頃に景気がピークを迎えるリスクが高まっている。

売上・利益、雇用

2002 年度の売上計画は、上期は輸出の上方修正など製造業の上方修正があったものの、下期は内需の不振を反映して製造業でも下方修正となっており、全規模・全産業で 0.6%の下方修正で、1.0%の減少計画となった。大企業・製造業の事業計画の前提となっている想定為替レートは、122.19 円となり 9 月調査の 122.70 円から 51 銭の円高となった。経常利益計画は上期は上方修正となったものの下期は下方修正となり、年度全体でも下方修正となっている。大企業・製造業が 31.8%増と大幅増益予想ではあるものの、大企業・非製造業や中堅、中小企業の下修正から、全規模・全産業で 11.6%増益、9 月調査比で 1.2%の下方修正となった。上期の上方修正、下期の下方修正という傾向は、先行きに対する懸念の強まりを示すものと言えよう。

売上高計画

(前年同期比・%)

		2001年度 (実績)	2002年度 (計画)		上期(計画)		下期(計画)	
			修正率	修正率	修正率	修正率		
大企業	製造業	-5.7	0.8	0.0	-1.5	0.6	3.1	-0.6
	国内	-5.3	-0.9	-0.7	-3.9	-0.4	2.1	-0.9
	輸出	-6.9	6.7	2.4	6.9	4.2	6.5	0.8
	非製造業	-3.5	-2.1	-1.0	-4.2	-0.8	0.0	-1.3
中堅企業	製造業	-6.7	2.0	-0.2	0.3	0.7	3.6	-1.0
	非製造業	-2.1	-1.3	-0.4	-3.5	-0.5	0.9	-0.3
中小企業	製造業	-6.0	-0.5	-0.4	-2.6	0.2	1.7	-1.0
	非製造業	-4.0	-1.8	-0.8	-3.5	-0.4	-0.3	-1.2
全規模	全産業	-3.9	-1.0	-0.6	-3.1	-0.3	1.0	-0.8

(注)修正率は、前回調査との対比。

経常利益計画

(前年同期比・%)

		2001年度 (実績)	2002年度 (計画)		上期(計画)		下期(計画)	
			修正率	修正率	修正率	修正率		
大企業	製造業	-38.6	31.8	0.6	11.6	11.9	54.0	-6.9
	素材業種	-27.6	6.5	-1.4	-7.4	7.4	22.3	-7.9
	加工業種	-44.1	48.5	1.6	24.5	14.3	74.4	-6.4
	非製造業	-7.9	4.2	-2.6	4.9	9.1	3.5	-12.5
中堅企業	製造業	-35.6	16.2	-1.5	15.9	4.3	16.4	-4.5
	非製造業	0.4	0.0	-1.9	-8.1	6.4	6.4	-6.8
中小企業	製造業	-46.2	43.0	-0.9	42.1	7.0	43.5	-4.8
	非製造業	-4.4	3.1	-0.3	5.8	7.4	1.1	-5.6
全規模	全産業	-19.6	11.6	-1.2	5.7	8.7	16.8	-7.9

(注)修正率は、前回調査との対比。

雇用判断 DI は全規模・全産業で 14 (前回 15) と前回に引き続き小幅ながら改善した。先行きは 14 の横這いとなっている。全規模・全産業の雇用者数は前回調査 1.4% に続いて 2.0% の減少と減少幅が拡大し、企業が雇用の削減によって雇用の過剰感に対応している姿が見える。

設備投資

生産・営業用設備判断 DI (「過剰」 - 「不足」) は、全規模・全産業で 9 月調査から横這いの 14 であった。先行きは 13 と緩やかながらも改善する見通しとなっている。2002 年度の設備投資計画 (ソフトウェアを除く) は、大企業・製造業で 10.7% (9 月調査 9.2%) の減少となった。9 月調査では大企業・製造業の業況判断の改善が続き、設備の過剰感が縮小しているにも関わらず、設備投資計画が 0.3% の下方修正となったが、今回も更に 1.6% の下方修正となっている。全規模合計では、製造業は 0.3% の上方修正となったものの、非製造業が 0.8% の下方修正となり、全規模・全産業の設備投資計画は 0.6% 下方修正の 5.1% の減少となった。

設備投資計画

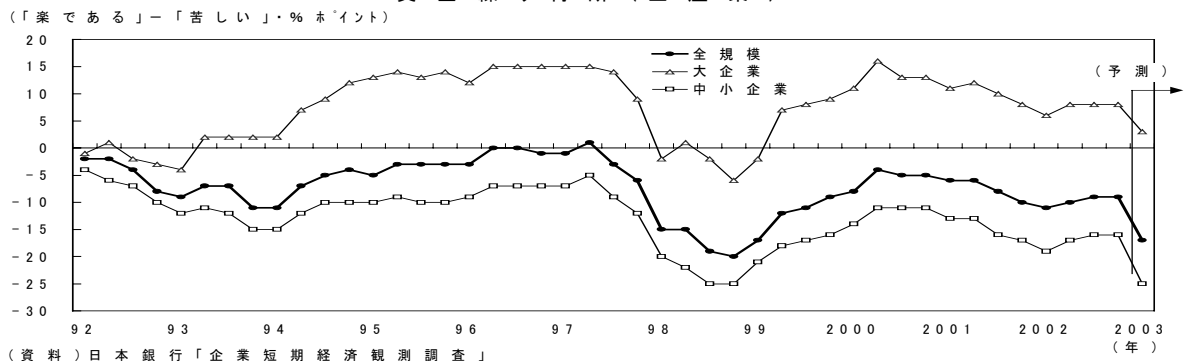
		(前年比・%)		
		2001年度 (実績)	2002年度 (計画)	
				修正率
大企業	製造業	-9.2	-10.7	-1.6
	非製造業	-8.6	-4.3	-0.1
	全産業	-8.9	-6.8	-0.7
中小企業	製造業	-14.7	-6.6	5.7
	非製造業	-0.4	-3.2	1.9
	全産業	-4.3	-4.1	2.8
全規模	製造業	-10.5	-10.4	0.3
	非製造業	-4.2	-3.2	-0.8
	全産業	-5.9	-5.1	-0.6

(注)修正率は、前回調査との対比。

企業金融

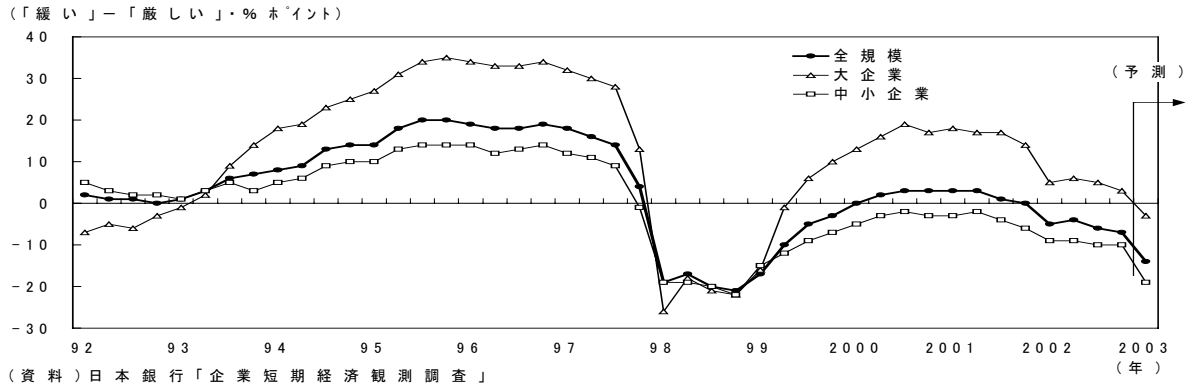
金融政策は引き続き超緩和の状態にあるものの、企業の資金繰りに対する先行き懸念は依然として根強い。資金繰り判断 DI は全規模合計で 9 (9 月調査 9) と横這いで、先行きは 17 と悪化が見込まれている。

資金繰り判断 (全産業)



貸出態度判断 DI は最近についての判断が、中小企業は横這いだったものの大企業が9月調査比で 2 の悪化となった点が注目される。先行きは全規模合計で悪化しており、 14 と悪化が見込まれている。

貸出態度判断 (全産業)



価格判断

大企業・製造業の仕入価格判断 DI は 3(9月調査 6)、販売価格 DI は 27(9月調査 31) となった。販売価格 DI の先行きは 27 となり、先行きも価格の下落基調が続く見通しとなっている。

販売・仕入価格判断 DI(大企業・製造業)

